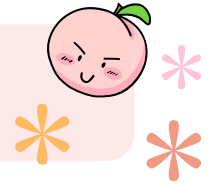


## せきはん はなし 赤飯のお話（小）



みなさん、こんにちは。6年生のみなさん、いよいよ卒業式ですね。卒業おめでとうございます。今日は赤飯のお話です。

入学、卒業などのお祝いをする時に日本では「赤飯」を食べることが多いですね。

日本に最初に伝わった米は、赤い米です。昔の人たちは、この「赤米」を大切にされていて、神様にお供えをしていたそうです。

ふだんは、おかゆのようなやわらかいごはんを食べていましたが、特別な日には、赤米を混ぜて蒸して固めのご飯にして食べました。

赤飯のことを「おこわ」ともいいますが、これは固いごはんのことを「強飯」と言ったところからきています。

やがてもっとおいしい米が作られるようになり、赤米が手に入らなくなりました。かわりに白い米に「小豆」や「ささげ」を混ぜ、赤い色をつける、現在の赤飯になりました。

今日は、6年生のみなさんの卒業を祝って、赤飯が給食に出ています。クラスの間々と楽しく会話して食べましょう。